



羽 卒

みどり

平成28年 1 月号

社会福祉法人翠浩会
障害者支援施設

新 光 苑

http://www.shinkoen.net/
〒360-0832 熊谷市小島527番地
TEL. 048-532-0665

いづれにしても株の世界の事は「一寸先は闇」で誰も予想は出来ませんが、この流れが国内経済に波及して、立ち直りかけている日本経済の腰を折られてはと心配しています。

まことに多難な幕開けとなりましたが、国内問題では世界に例を見ない「高齢社会」と「少子化」問題ではないでしょうか。

1月10日の新聞に「介護定員増 計画の7割」の見出しで、2012〜14年に整備された介護施設の定員数が計画の7割どまりで、主な原因としては建設費の高騰と人手不足とあります。

主な原因は中国の景気減速と石油価格の値下がりと云われていますが、先の見えない不気味な不安を憶えます。

しかし新年早々、北朝鮮による水爆実験と、サウジアラビアとイランの国交断絶等、国際情勢は緊迫しています。国内ではアベノミクスの経済政策に期待していた予想を裏切つて、1月4日の東京証券取引所の大発表後、日経平均株価は戦後初めて6日間連続して値下がりしました。



新年明けまして おめでとございます

穏やかな晴天に恵まれた元旦で、健やかに希望に満ちた新年を迎えられた事と、心よりお祝い申し上げます。

昨年政府は「介護離職ゼロ」を掲げましたが、実行計画の達成すら難しい状況で、どのような有効な手を打とうとしているのでしょうか。

出口のない閉塞感に包まれている時、明るい記事を読みましたので、紹介いたします。

1月5日の朝日新聞に「新発想で挑む」の記事で「地域の足 人もモノも運ぶ」と題して、

『黄色い派手なラッピングを施した大型バスが盛岡駅前姿を現した。岩手県の盛岡市から宮古市まで約100キロを結ぶ路線バスだが、乗せるのは人だけではない。宅配便の荷物を載せて走る客貨混載バス、通称「ヒトものバス」だ。

宅配便大手のヤマト運輸と岩手県北バスがタッグを組んで、昨年6月に運行を始めた。1日片道1便、道路運送法を弾力運用することで実現した全国初の試みだ。終点のJR宮古駅前に着いたバスは、ヤマトの宮古営業所に向い、別の路線バスに荷物を移す。次のバスは本州最東端の重成半島に向い、待機しているヤマトの運転手に荷物を渡す。』

この記事を読んで「目からウロコ」が落ちた感じを受けました。過疎化が進む各地のローカル線やバスの存続を脅かす問題に指針を与えてくれた 具体的な好例ではないでしょうか。

施設運営を続ける限り「人手不足」は永遠の課題です。いかに発想の転換をして、魅力ある職場にしてゆくかは施設長の責任です。他業種に劣らぬ給与を払いながらも、安定した運営をしてゆくには、全ての面で見直しをし、効率よく無駄を省いてゆかなければ出来ません。

今年のスローガンは「団結して今年を乗り切ろう」と掲げ、全職員が一致して職務に当ることを約束いたします。

新年の抱負

副苑長 横川与志子



新光苑が脳性麻痺専門の「身体障害者療護施設」から、三障害一元化に伴う「障害者支援施設」に移行し、同時に私が副苑長に就任してから、今年で7年目を迎えます。

その間中途障害・知的障害・精神障害や難病の方々を、出来る限りお受けしてきました。職員にとって、これまでの知識や経験がない利用者の支援は、様々の研究や学習をしながらの苦労と、同時に大きな成長に繋がるものでした。

一昨年開業した相談支援センター「さくら」と児童デイサービス「ひかり」も、地域の皆様に多数ご利用いただき、ようやく軌道に乗ってまいりました。生活介護・短期入所の利用者数も増え続け、新規の皆様がいかに新光苑に慣れ、有意義な時間を過ごして頂くか、試行錯誤を重ねています。

施設入所定員は50名から80名に、また更に現在20名募集中で、多数のお問い合わせ・見学・体験利用を頂いています。従来の入所者は、高齢化による機能低下や病気のリスクが高まり、新規入所者は障害の重度化・重複化が進んで、職員の負担は増加傾向にあります。

そんな中、設立理念をベースに支援の効率化を図り、職員の職場環境をより良いものにしていきます。また時代や利用者様のご要望にお応えするべく、柔軟な施設経営を目指します。皆様今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

新年会

櫻井愛菜



快晴に恵まれた1月11日、新しい年への期待を胸に新年会が、利用者・保護者・理事・評議員・職員、総勢250余名の参加で、ホール棟を会場として、盛大に開催されました。

午前11時開会。西田理事長、苑長、横川副苑長が壇上に並び、新年の挨拶のあと苑長より、年頭に当り「団結して今年を乗り切ろう」のスローガンのもと、今年の施設運営に当たっての力強い決意が披露されました。続いて吉田保護者会長、役員を代表して嶋田理事より挨拶を頂きました。

次に壇上に江村部長を中心に役職員が並び、各人がそれぞれ職務に対して、抱負と決意を述べ、参加者は深い感銘を受けました。

舞台は一変して、御山流家元御山美和先生の「初舞い」が始まり、曲目は「悲恋静」その優雅な舞踊に会場は静まり返り、視線は舞台に集中し、新春の喜びに心ゆくまで浸りました。

水谷真理奈・石野健一両利用者の乾杯により祝宴に入り、盛り沢山のご馳走に舌鼓みを打ちました。

舞台では津軽三味線「貢正会」の演奏が始まり、太棹からの迫力ある音色と絶妙な繊細な音色に魅了され、聴衆全員が聞き入っていました。続いてものまね芸人「花さん」のショーでは様々なヒットナンバーに聞き入ったり、一緒に歌ったりと、とても盛り上がりました。

楽しい時間もあっという間に過ぎ、副苑長の閉会の言葉で、新年会は幕を閉じました。



次回は、3月15日の発行になります。

平成28年職員スローガン
 サービス部長 江村 玲



新しい年を迎え、職員のスローガンを「整理整頓は発展の基本である」と掲げ、今年1年を職員一丸となって取り組んでいきます。

今年、新職員の採用がない為、現職員の研修に重点を置いて、基本技術の見直し、改善点の洗い出しなど、一人一人の技術・意識の向上に努めていきます。その上で、一番大切な整理・整頓・清潔・清掃・しつけ、この一般的に5Sと言われる仕事の基本をしっかりとし身につけて行きます。仕事の基本ができていない人は、何をやっても一人前にはなれない。逆にいえば、整理整頓がきちんとできる人は、どんな仕事でもできる人である。こうした苑長の考えを職員は受け継ぎたいと思います。

入所支援は施設の拡大に伴う入所者の増加や、利用者自身が年齢を重ねてきた事により、生活面や各々の機能面に「変化」が生じています。これらの変化に柔軟に対応していく事がこれからの課題であり、課題を乗り越えた先に利用者の幸せがあると考えています。新光苑の原点である「信頼・愛情・感謝」を念頭に、利用者にとっての幸せは何かを常に考えながら、変化に対応していきけるよう努めます。

生活介護・短期入所・放課後デイは、様々な障害を持った方や子供達が利用していますので、安心して預けられる場所であると共に、元気に自宅に帰っていただけるよう努めさせていただきます。

クリスマス会
 原澤麻美

12月23日(水・祝)にクリスマス会が開催されました。利用者・保護者・職員、さらに児童デイサービスからも子供達が参加し、総勢250名あまりと、ホール棟を端から端まで使いとても賑やかな会になりました。

11時に開会し、毎年恒例の一年目職員による余興が行われました。今年はいさ溢れるダンスと、バルーンアートでクリスマスツリーを作り、例年とは一味違った余興で楽しませてくれました。

外部からはシンガーソングライターの「谷介」さん、ママさんブラスバンドの「くまびよ隊」の皆さんがそれぞれクリスマスソングを歌い、馴染みのある曲を演奏して下さいました。会場の皆さんも手拍子をしたり一緒に歌ったりと、素敵な演奏に癒されクリスマス会を楽しんでいました。

今年も新光苑にサンタさんがたくさんプレゼントを持って来てくれました。愉快的サンタさん達が届けてくれたのは、色違いのトレーナーやクリスマスカードで、早速試着している方もいらっしやいました。皆さん嬉しそうな笑顔を見せてくれました。

食事の最後にはかわいいクリスマスケーキも配られ、利用者さんは満足そうな表情をうかべていました。副苑長の挨拶で今年最後の行事も閉会です。来年もどんな行事が催されるのか楽しみみです。



次回は、3月15日の発行になります。

文化祭

先崎 歩

今年は例年より遅く、11月23日に文化祭が行われました。利用者の素晴らしい作品がたくさん並び、保護者の方も熱心に見学されていました。また、新光苑にちなんだ問題を用意し、協力し合いながら回答していくウオークラリーやフラワーペーパーを使用し、新光苑の絵を飾り付けるフラワーアートも行いました。

午後は、手作りおやつでバターを作り、ホットケーキにデコレーションをしました。バターが出来るまでが大変でしたが、とても美味しいと好評でした。

表彰式では、最優秀賞に千島静子さん、苑長賞に塩田哲也さん、実行委員特別賞は黒澤正文・安田茂幸・町田勝将・岡田しげみ・矢島恵子さんの5名が選ばれました。

この日の為に一生懸命努力した成果が認められ、皆さんとても嬉しそうでした。また、入賞出来なかった方も、とても素晴らしい作品ありがとうございました。



餅つき大会

太田久美

12月25日に餅つき大会を行いました。普段はあまり体を動かかせない利用者さんも、がんばって杵の柄を握り、よいしょ、よいしょと掛け声にあわせて餅つきを行いました。暖かい日でしたので、皆が積極的に参加してくれました。

出来上がったお餅は、職員で適度な大きさにちぎり、辛味大根、黄粉、あんこをまぶしていただきました。利用者のみならず、職員一同も笑顔になった一日でした。



編集後記

予期しない大雪で、季節は平常に戻ったようです。満開に咲いていた水仙も、雪に押し潰されてしまいました。露の臺や梅の花は、寒さの中でも確かな春の訪れを伝えていきます。風邪など引かずに頑張りましょう。



春の訪れ